# 南大沢囲碁同好会の定例会が開始

2020 年 6 月 20 日　　成田　滋

6月 20 日土曜日の午後、京王相模線南大沢駅を降りると、開放的な広場には出店もオープンし多くの人が買い物袋をさげて散策しています。家族連れも目だちます。駅から徒歩 6 分のところにあるのが南大沢保健福祉センターです。南正一郎副会長と私は、南大沢同好会の総会と例会があるというので伺いました。

南大沢保健福祉センター

南大沢保健福祉センターは６月８日から貸室の利用が始まりました。一般市民も囲碁を楽しみ始めたとききました。同好会も今年度の総会を兼ねて定例の対局を企画したようです。少し蒸し暑い位の午後でしたが、会員が三々五々集まります。最初はセンターが用意した健康チェックシートに記入していきます。年度の会費も徴収します。

集会室の定員は 48 名で、利用者は 24 名までという制限があります。そこで総会は二つに分けて密集を避けるという対応をします。武中章三会長の司会で総会が始まります。最初は、昨年度のタイトル大会の表彰、定例会の皆勤、精勤者の表彰です。八碁連だよりは、印刷物ではなく八碁連サイトから配付するという会長の提案も了承されました。

会員には事前に連絡し第一

グループは３時まで、次のグループは４時 15 分までというように対応していました。対局は、全員マスクを着用し長机に一組が坐ります。窓は開放されています。二つに分けた総会でしたが、全部で 40 名くらいの会員が集まりました。女性の一新入会員もおりました。女性はあわせて３名の出席です。信江峻七段と小川浄二八段の対局も見られました。私は三浦晴久、南両氏と対局を楽しみました。お二人とも私に花をもたせてくださいました。

定例会の終わり、幹事の舛石真一氏や三浦氏らが机や椅子をならべ、入口ドアの手摺り、机、碁盤、碁笥の消毒をやります。会場の消毒にやってきた職員が感謝していました。今後しばらくは、例会は毎土曜日の午後、二部にわけて開かれますが、定例会が再開されたことにより、同好会の活発な活動が続くことを感じさせられました。

窓を開けた対局室

定例会が終わり、三浦氏が予約された和装サロンで武中、信江、南氏、そして私の５人で親睦会をやりました。この集いを楽しみにしていた土曜日でした。